

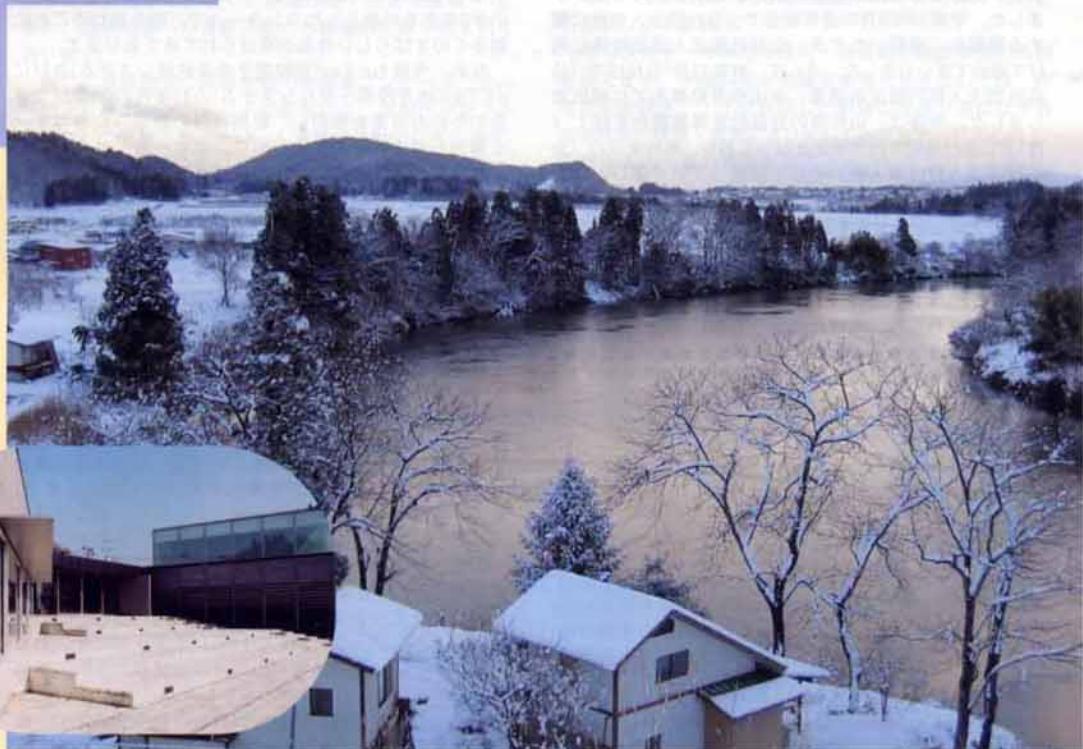
平成25年1月31日

発行 社団法人 村山法人会
〒995-0035
村山市中央1丁目3番5号
TEL0237-55-2555
FAX0237-55-2444
E-mail:mura-hk@amberplala.or.jp
URL: http://www.murayama-houka.or.jp

きたむらやま

謹賀新年

VOL.44



ふるさと
ズームアップ

真下慶治記念美術館からの風景 (村山市)

写真提供: 村山市

最上川とともに生きた画家、真下慶治。

1914年3月5日山形県最上郡戸沢村津谷に生まれる。

真下は晩年まで最上川に立ち続け、流域の暮らしを紡ぐ母なる川への想いを、そして春を待つ雪国の人びとの心を描き続けました。

画面に表現された風景そのものが、観る者の心に深く浸透し、静かな感動を呼び覚まします。真下慶治の想いは今もなお最上川に生き続けています。

真下慶治記念美術館は、最上川を眼下に望む高台に位置しなだらかな丘陵と杉林を背景に周りの景観に溶け込む建築となっています。とりわけ、ラウンジからは前面に広がる最上川の大蛇行部（大淀）を眺める事ができその景色は圧巻です。

平成24年6月には「一般社団公共建築協会」主催の「公共建築賞」を受賞しました。

ご来館心よりおまちしております。ゆっくり流れる心地よいときをお過ごしください。

新春のごあいさつ



社団法人村山法人会
会長 大類 伸一

年頭に当たり謹んで新春のお喜びを申し上げます。

旧年中は、会員の皆様をはじめ、役員各位並びに税務当局や関係団体各位の深いご理解とご協力のお蔭をもちまして、事業活動を円滑に運営することができましたこと、心から感謝申し上げます。

さて、平成20年12月に新公益法人制度が施行され、当会といいましては最重要課題として取り組んでまいりました。平成24年5月の通常総会で公益社団法人申請に関する議案をご承認いただき、公益社団法人認定取得に向けて進めてまいりました。そして、昨年12月5日付けて「公益社団法人移行認定申請書」を山形県知事あてに提出致しました。今後は、山形県の公益認定等審議会を経て、4月1日に移行登記を行う予定となっており、名称を改め「公益社団法人村山法人会」として活動していく運びとなります。これは県内の残る6単位会すべて同じで、同じスタートを予定しております。

法人会の基本である「税」を軸足とした活動は、法入会の果たすべき社会貢献として大変意義深いものであり、地域社会との「共生」として積極的に展開することにより、公益性が高められ、地域社会からも今以上に広く受け入れられています。

れられるものと思います。

つきましては、公益法人制度改革の理念に基づき、社会的に評価の高い組織として、各種事業の実施を通じて、広く一般の方々にも多数ご参加いただけるような「税」を中心とした事業を今後も推進していく所存でございます。東北税理士会村山支部との共催で実施しております「租税教室」は、講師として、当会からは青年部会員・女性部会員が中心となって行っております。税の大切さを感じていただくことを目的に、身近な事例を挙げて「税金の種類」「税金の使いみも」等についてわかりやすく伝えております。

「税に関する絵はがきコンクール」は、女性部会を中心となって進めている事業で、今回第5回目をむかえます。小学6年生を対象としたコンクールで、回を重ねるごとに数多くのすばらしい作品が寄せられております。

なお、今後もe-Tax(国税電子申告納税システム)並びにe-L-Tax(地方税ポータルシステム)の利便性のPR並びに普及のための方策を検討し、税務行政の取組みに寄与すべく努力してまいりますとともに、より一層公益目的に沿った事業の充実に向けて、関係団体皆様のご協力をいただきながら、会員皆様と共に取り組んでまいりたいと思っておりますので、本年も一層のご指導ご支援を賜りまますようお願い申し上げます。

最後に、皆様の限りないご発展とご健勝をお祈りし、年頭の挨拶とさせていただきます。



青年部会
部会長 永沢 昌彦

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、青年部会の活動に対して、深いご理解と多大な御協力を賜り心より感謝申し上げます。

本年が皆様にとりまして、実り多き一年であります様、心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は震災からの復興需要、消費増税法案成立なども在り、建設関係に関しては例年以上の動きが遅ったように感じますが、製造業等の輸出産業においては、長引く円高により景気低迷がつづいていた状態だったと感じられます。本年はこれまで以上に、経済活動が活発になるよう切に念願するものであります。

我々青年部会は、次世代経営者の更なる資質向上を目指し、各種セミナー、講演会、会員相互の異業種交流による情報交換をしています。

また、公益社団法人の元「税」をテーマとした幅広い公益活動にも積極的に取り組み、部会員の自己革新・自己研鑽に繋げてまいりたいと考えております。

昨年11月「新価値創造」～復興から未来へ。今、見せよう。日本の底力～を大会スローガンに「法人会全国青年の集い」が宮崎県で行われました。新価値創造とは、

私達多くの企業経営者が努力し、消費者が必要とするもの、そしてこれからもっと豊で幸せな生活を実現する為に、日本人らしいオンライン商品を作り出し、それに見合った価値をしっかりと消費者へ伝えていく努力をする。新しい産業や第6次産業等を例とする新しいビジネスモデルなど、もっともっと企業努力を重ね、商品やニーズへの新しい価値を企業が創りあげる事を目標に経営に取り組んで行こうと言うものでした。

部会長サミットでは、「あなたの街の新価値創造」「租税教育活動全国一斉行動について」をテーマにデスカッションを行い、全国各地での様々な価値観にふれ、新価値創造のヒントを得る事が出来ました。

また、沢山の素晴らしい租税教育活動事例を基に、全国の青年部会としての統一的な一斉活動を行うことで、よりわかりやすく、効果的な成果に導ける取り組み方法などについて検討し、今後の活動に繋げて行ければと考えております。

その他、大会式典、基調講演などに参加して、改めて多くの会員の皆様と触れ合い、大変有意義な時間となりました。来年度は広島県で開催されます。数多くの部会員の皆様にも参加いただき、より多くの考え方につれていただければ幸いです。

最後に本年もより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願ひいたします。





村山税務署 署長 佐藤 正春

新年明けましておめでとうございます。

社団法人村山法人会の会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から税務行政全般にわたり、深いご理解と多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

村山法人会におかれましては、「よき経営者をめざすものの団体」として、多くの事業活動を活発に展開され、また、地域社会への貢献活動にも積極的に取り組まれております。

特に、租税教室の開催や税の繪葉書コンクール、まんが冊子や税のパンフレットの配布など、次世代を担う小中学生への啓蒙活動はたいへん重要な活動でございます。法人会のこれらの活動は、「正しい税知識の普及・拡大」、「納税意識の高揚」に大きく寄与するとともに、地域社会の皆様からも高い評価を得ており、私ども税務に携わる者にとりましても大変強く、法人会並びに会員皆様の活動に対し深く敬意を表する次第であります。

さて、昨年は大震災復興の年として位置づけられたものの、未だに多くの方が避難所生活を余儀なくされて

おります。また、原子力発電所の事故による避難者の方々におかれでは、まもなく2年を経過しようというこの時期になっても、何時帰宅できるのか先が見えない状況にあり、復興がいかに険しいものであるかを物語っております。

本年は、巳年にあたります。十二支の「巳」は、蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているとも言われ、「起る、始まる、定まる」などの意味があり、また、蛇は脱皮することから「復活と再生」を連想させるそうです。村山法人会におかれましても、公益社団法人村山法人会としての始まりの年でもあり、巳年に相応しい一年となり、会員皆様の更なる飛躍の一年となりますようご祈念申し上げます。

年も改まり、今年も所得税・消費税の確定申告の時期を迎えます。平成24年分の確定申告におきましては、昨年引き続き、ITを利用した申告の推進や適切な申告指導体制の構築・運営によりまして納税者サービスの向上、自書申告の一層の推進を図ることとしておりますので、皆様には、今後ともなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに当たり、村山法人会のますますのご発展と会員皆様のご健勝並びに会員企業のご繁栄を心より祈念申し上げまして、新年のあいさつといたします。



女性部会 部会長 佐藤 悅子

明けましておめでとうございます。昨年は東日本大震災をうけての年明けということで、国民の多くが年賀状に使う言葉に心を配った念頭でした。そんな中、被災地の復興は遅々として進まず、景気も改善ならぬまま年末には政権交代という国民の意思で新政府誕生しました。新政権に対する国民の期待はこれまでになく多大であることは必至です。私たちも投票した責任を果たすべく、これから政治に関心を持ちながら見守っていきたいと考えるようになりました。

さて、私たち女性部会は今年度多くの他部会との交流会を実施いたしました。被災してからやっと外にでる気力が出たからと言って村山に来て下さった塩釜の会員さんは、サクランボ狩りをして喜んで下さいました。また、節電15%目標としたイチゴプロジェクトの一環として、節電に有効なLED照明器具を製造しているアイリスオーヤマ社を訪問して工場見学させていただき、節電への意識の定着を促しました。そして工場のある仙南法人会の女性部会の方々とも交流会をさせていただきました。加えて県内の女性部会さんとも交流会を行い、互いに刺激を受け合い、これから活動にいかかしていきたいと考えております。

女性部会活動の大きな柱となっております『租税教室』

は税務署さんや税理士協会と連携してこれまでお手伝いが多かったのですが、実際に教室で六年生の児童を対象に税金について授業を担当しました。子供たちの真剣な眼差しに私たちも緊張しながら税の大切さを知らせることができたことは貴重な経験でした。これから多くの学校で実施したいと考えております。また、『税の繪はがきコンクール』において当部会からもたくさん応募をいただき優秀な作品を数多くその中でも東北で賞を受けた作品がでたということは、部会にとって自分たちの活動に自信をもたらしたような大変うれしい出来事でした。

このような活動を通じてこれからも社会貢献や会員の資質向上のための事業を会員の皆様はじめ関係団体の協力を得ながら実施していきたいとおもっております。今後ともご理解・ご協力の程よろしくお願ひいたします。



10月26日(金)
仙南法人会との交流会



11月21日(水)
山形法人会との交流会

おめでとうございます

平成24年度納税表彰受賞者の紹介 村山税務署長表彰

村山税務署の納税表彰式が11月12日(月)、東根市によし田川別館で執り行われ、2名の方が受賞されました。

納税表彰は、青色申告会や法人会・問税会等の納税関係団体の活動を通じ、多年にわたり申告納税制度の普及発展と納税思想の高揚にご功績のあった方々に対して贈られます。



南山東樓 代表取締役
高橋 利廣様



北群信用組合 理事長
西塙 一彦様

緑白綬有功章受章者の紹介 (第96回農事功績者表彰)



株天香園 代表取締役 岡田 誠 様

岡田氏は、海外優良品種の積極的な導入、組織培養苗木の増殖や国内の民間育成品種の発掘・普及に努めるとともに、新品種、栽培技術、品種保護の認識等について、全国各地で講演活動を行うなど果樹産業の発展に大きく貢献され、その功績が高く評価されたものです。

平成25年度税制改正に関する提言の実施

公平で健全な税制の実現を目指して会員企業の意見や要望を反映しながら、税のあるべき姿や将来像を見据えて、建設的な意見を提言しその実現を訴えております



右：佐藤 清 村山市長
11月26日(月)大類会長(写真中央)並びに岡田副会長(写真左)の両名にて、要望書を手渡しました。

〈平成25年度税制改正に関するスローガン〉

- 待ったなし。国・地方とも
聖域なき行財政改革の断行を!
- 活力ある経済社会の実現を目指し、
抜本的な税制改革を!
- 予算の迅速な執行など、
万全な体制により被災地の早期復興を!
- 所得税は広く薄く負担を求める、
努力した人が報われる税制の構築を!
- わが国企業の国際競争力確保のためにも、
さらなる法人税率の引き下げを!
- 地域の活性化・雇用確保に資するためにも、
欧米並みの本格的な事業承継税制を!
- 増税だけに頼るのではなく、
徹底した歳出削減の実施を!
- 地方分権の推進のため、
三位一体改革の更なる徹底を!
- 年金・医療・介護制度について改革を断行し、
持続可能な社会保障制度の確立を!

社会貢献事業報告

租税教育活動

東北税理士会村山支部との共催により租税教室を開催



平成24年7月5日(木) 尾花沢中学校



平成24年11月9日(金) 大富中学校



平成24年12月4日(火) 大石田南小学校



平成24年11月14日(水) 葉山中学校



平成24年12月12日(水) 大久保小学校

平成24年12月13日(木) 楠園小学校

税の啓発活動



9月30日(日)
「むらやま商工まつり」
10月7日(日)
「まるだし尾花沢まつり」
10月27日(土)
「大石田新そばまつり」



会員さんからこにちわ

株式会社 友企画 (総合葬祭平安堂)

〒999-4111
大石田町大字大石田丁202-26
TEL 35-3336 FAX 35-3337



●どんな仕事をする会社ですか？

「人生最後のセレモニー」葬儀の運営・施行と法要の運営をする会社です。また、生花・盛籠・花輪・仏具の販売もしています。生前の相談、葬儀費用を安く施行する為の「互助会」の営業もしております。

●フリートーク

平成元年の創業以来「お客様の気持ちになって」を合言葉に、風習を守りながら地域密着で頑張らせて頂いています。

時代の移り変わりと共に、寺院や自宅での葬儀からセレモニー葬へと変化し、当社でも尾花沢と村山に式場を構え、快適に故人の供養が出来る様にしております。

これからも、お客様のご要望を少しでも叶えられるように、努力して行きますので宜しくお願ひします。

株式会社 武田板金工業所

〒999-3720
東根市さくらんぼ駅前3丁目9-12
TEL 43-2215 FAX 42-2215



●どんな仕事をする会社ですか？

今年で創業38年。建築板金をしています。建物の屋根工事・外壁工事・雨樋・雪止め取付工事を主にしています。一般住宅から、工場、学校、文化施設などの施工を手掛けてきました。

屋根や外壁はお客様の大事な家族や財産を雨風や夏の暑さから24時間毎日守っています。自分たちの仕事に誇りを持ち、お客様に喜んでいただけるよう、眞面目に丁寧に仕事をさせていただいている。

●フリートーク

今は既製品できれいな物がすぐに手に入る世の中です。数十年前は、流し台のシンクも手作業で加工していました。今みてもすごい技術だと感心させられます。また、ひがしね祭で使用されている『がん灯』(今の懐中電灯)も依頼を受け製作しました。こういったものにも細かい技術と経験と知恵が必要です。長年培った技術と更に資格取得し、技術を磨き良きものを後世に伝え残したいと思っています。



おかげさまで、法人会がん保険制度は今年30年を迎えます。法人会の福利厚生制度の普及を通じ、会員企業とそのご家族の皆様に安心をお届けしてまいります。
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

■引受保険会社（お問い合わせ先）

Aflac アフラック
(アメリカン・ファミリー生命保険会社)

山形支社

〒990-8580 山形市城南町1-1-1 霧城セントラル3F
☎023-645-8230 FAX 023-645-8220

法人会連合会の団体保険制度：取引信用保険

中小企業向け貸倒保証制度 ご加入のおすすめ

中小企業向け貸倒保証制度 ご加入のメリット

キャッシュフローの安定化
貸倒取扱いの一定額を保険会社として受け取ることでできる限りの負担を軽減することができます。

対外債務力の向上
支払債務の健全となり、即決に対する信頼の向上が期待できます。

資金調達の手続化
貸倒リスクを一定程度の保険料負担により保険に託すことで、資金を手続化することができます。

各種管轄の充実化
審査の手続管理に保険会社の審査が加わり、即決に対する各種管轄の充実・向上がれます。

法人会会員企業の皆さま向けに専用のフリーダイヤルをご用意いたしました。
また、この制度をご利用くださいまほよ、よろしくお問い合わせ下さい。



■保険期間
平成23年8月1日(月)～平成24年7月31日(火)
保険期間開始後も補償開始日を毎月1日として複数回申込み(中途加入)ができます

当月15日までに申込みまでに保険料を払い込んだ場合は翌月15日(月)～平成24年7月31日となります。

ご連絡・お問い合わせ先

三井住友海上保険株式会社

山形市旅籠町3-2-10
TEL:023-624-1835 FAX:023-624-1837

税務署 からの お知らせ

TAX INFORMATION

おうちで作成 ネットで申告 **e-Tax**



自宅やオフィス、税理士事務所等から
インターネットを利用して申告、申請・届出等ができます。

1 国税庁ホームページからe-Tax

自宅から国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で
申告書を作成し、そのまま提出(送信)できます。
※確定申告期間中は、24時間提出(送信)可能です。
(詳しくは、「e-Taxの利用可能時間」参照)

2 最高3,000円の税額控除

平成24年分の所得税の確定申告を本人の電子署名と電子証明
書を付して、平成25年3月15日(金)までにe-Taxで行うと、所得
税額から最高3,000円の控除を受けることができます(平成19年分か
ら平成24年分の間でいずれか1回)。

3 添付書類の提出省略

医療費の領収書や源泉徴収票等は、その記載内容
を入力して送信することにより、提出又は提示を
省略することができます(法定申告期限から5年
間、税務署から書類の提出又は提示を求められる
ことがあります)。

e-Taxなら こんなにいいこと

4 還付がスピーディー

e-Taxで申告された還付申告は、早期
処理しています(3週間程度に短縮)。

確定申告以外にも e-Tax が利用できます

1 電子納税

税務署、金融機関に出向くことなく、自宅からインターネットバンキング等を利用して納税ができます。
また、事前に届出をしておけば、届出をした預貯金口座からの振替により、簡単な操作で即時又は期日を指定して納付することができる「ダイレクト納付」が利用できます(届出から利用可能となるまで1ヶ月程度かかります)。

2 納税証明書の電子申請

納税証明書の交付請求をe-Taxで行うと、手数料がお得です。なお、納税証明書は、電子データでも書面でも受け取ることができます。

e-Taxソフト(WEB版)

納税(納付情報登録依頼)、納税証明書の交付請求、給与所得の源泉徴収票等の法定調書(及び同合計表)及び給与等の所得税徴収高計算書については、e-Taxホームページの「e-Taxソフト(WEB版)」で作成し、提出(送信)することができます。



法人会の経営者大型総合保障制度
広げよう
企業保障の
大きな傘を

法人会の「経営者大型総合保障制度」は
昭和46年に発足し、
会員のみなさまと共に歩んでまいりました。
これからも会員のみなさまをお守りしてまいります。

DAIDO 大同生命

山形営業支社/山形市調訪町1-1-1
TEL 023-641-2852

AIU保険会社
チャーチス
セイムコム・チャーチス・ホールディングス

山形支店/山形県山形市調訪町1-1-1
(センチュリープライス山形7F)
TEL 023-633-8282

よもやま話

私は24歳で中国料理 山東樓を開業し、今年37年目を迎えました。ゼロからのスタートでしたが商業界との出会いが私を成長させてくれました。毎年2月に箱根で開催される商業界セミナーに参加するようになり、2000人以上の同志との出会いやご縁が生まれました。そんな時、商業界主宰の倉本初夫主幹が中国視察団員を募集している事を知り応募したところ、全国から10名選抜の中に入ることが出来たのが、1985年の事です。今から27年前の事になりますが、その時の中国の思い出を書きたいと思います。

1985年11月10日から21日までの日程で、西安・上海・北京の3都市を3日間ずつ巡って来ました。倉本主幹は中国で、店舗やスーパー経営について何回か講演されていて、中国の招きでの視察研修でしたので、どこへ行ってもビップ待遇されました。道路では手信号で優先的に通されたりで日本では考えられないことでした。当時の中国のホテルは水道は赤く錆びて、回すと蛇口が取れたり、シャワーの水量がまちまちだったり、排水口が詰まっていたり、今では考えられないアクシデントもありました。住宅は長屋風住まいもあったり、団地もあまり衛生的と言えないものでした。百貨店や商店もありましたが、一寸路地に入れば屋台販売で冷蔵庫もなく食べ物は不衛生でした。紙幣は外国人は兌換元を使用し、お釣りは人民元でボロボロでした。毎日接待を受け、数多くの料理で持て成しをうけましたが、今でも忘れられないのが西安での珍味です。ヘビ・アリ・カエル・蜂の巣の料理が出ました。ヘビは鶏肉に似てあっさりして食べられ、アリは大きく、油で香ばしく揚げてあり美味でしたが、その他の料理は目を閉じて何とか食べた記憶があります。そういう珍味との出会いはそれが最初で最後でした。北京ではさすが首都だけあって街が整備され、ホテルも比較的新しく快適に過ごす事が出来ました。北京での1日目は中国の通産大臣主催の晩餐会を金鯧台迎賓館でフランス風中国料理で持て成して戴き、大感激でした。コンソメフカヒレスープやクロワッサンが今でも忘れられない味として残っています。そ

の時の中国の通産大臣のお話の中で「これから中国は商店の改革が進み近代的な商店に変わります。そして、日本企業が中国へ出店される様、希望します。」と言っておられた事が、今実現されその通りになっています。視察研修最後の日は、人民大会堂での晩餐会でした。人民大会堂では2番目の上海の間で行われ、本場中国の味を堪能しました。北京ダック・上海カニ・餃子等27種類の料理が出され、私の知っている料理も何品かあり大変興味深いものでした。人民大会堂は天井が高く、大理石の柱で出来ており、実際に堂々とした建物でした。

思い出多い中国ですが、現在日本を抜いて経済大国世界第2位となり交通網は整備され、片側6車線の高速道が連々と続いています。リニヤカー・百貨店・ホテル・マンション・住宅・スーパー・コンビニ・ファストフード等日本と同水準に達し、更に日本を追い抜いています。尖閣諸島の日本国有化や日本の政治の混迷により中国との関係がぎくしゃくしていますが、何とか新しい政治の力で、日中友好の輪を回復し、日本も中国に負けない、本気の底力を発揮し、ここ東根にも活気を取り戻して欲しいと願うこの頃です。



(有)山東樓 高橋利廣

無料

**インターネットセミナーを
是非ご利用下さい。**

当会ホームページにて、無料にて配信しております。
動画と音声で著名人の講演会をいつでもどこでも都合の良い時にご覧いただけます。

広報委員

委員長 戸田 栄一	株うろこや総本店
委員 高橋 和功	株ワコー
委員 竹中 清	株竹中金物店
委員 加藤 稔	㈲加藤活版所
青年部会長 永沢 昌彦	㈲エヌエス商会
女性部会長 佐藤 悅子	㈱サトー精工